

第6回市民総参加のまちづくりサロン会議録

平成19年9月25日

午後7時～8時30分 イルフプラザカルチャーセンター

第7研修室

市民参加者 16人

市側参加者 5人

■開会

■岡谷市民憲章唱和

- 市 : (今回を含め、残り3回なので、そろそろ具体的な提言をまとめる必要があることを説明。)

■意見交換：前回に引き続き、グループに分かれて進行。

テーマ「健康・福祉・子育てなどについて」→	6人
「環境・ごみ・景観などについて」→	7人
「街の賑わい、活性化などについて」→	3人

○健康・福祉・子育てなど (参加者6人)

提言の項目

- ①病院統合
- ②予防医療 (DMセンター、透析、心臓血管外科・循環器内科)
- ③子育て支援センター
- ④地域での子育て支援 (ララや空き敷地の利用、あやめ基地等)
- ⑤子どものこれから (学校統合・通学区・みまもり隊)

① 病院統合

【診療科目について】

- ・ 統合後の診療科目について、岡谷病院は現在21科あるが、塩嶺病院の現在の診療内容 (結核・緩和ケア等) も考慮し、特科の部分 (心臓血管外科・糖尿病等) と必要とされる診療科目をうまく配分してほしい。
- ・ 病院の「たらいまわし」にならないよう、産婦人科等必要な診療科を残してほしい。
- ・ 検診で再検査となった場合に、病院内もしくは岡谷市内の病院で診療でき、完結できる体制をつくってほしい。
- ・ 人間ドックの充実のために、岡谷病院と塩嶺病院の両方に検診科があった時 (昨年度) と、塩嶺病院にすべて検診を持っていった時 (今年度) の実績を調べ、どちらの方がよいのか判断したらどうか。

【福祉という大きな枠で考えた病院経営】

- ・ 病院の運営（PR）について、予防医療や子育て等と福祉全般の中で運営（PR）をしていくことが必要。（行政チャンネルの利用）
- ・ 地域医療・生活習慣病・予防医療について、福祉全般を考えた病院経営をしてほしい。
- ・ 経営面を考えた時、黒字を期待するが、福祉を考えての経営で全員が努力した上での赤字はしょうがないのではないか。

【市民の求める病院】

- ・ 診療してもらおうという立場で考えた、市民が求める病院にしてほしい。
病院統合にあたっての病院運営委員会が立ち上がるとしたら、市民サイドの意見を聞いてもらうために一般市民を運営委員のメンバーに加えてほしい。例えば、現在「まちづくりサロン」で病院統合について議論しているので、その意見（提言）が活かされるよう、サロンのメンバーを運営委員として加えたらどうか。
もし、病院運営委員会が立ち上がらなければ、市民の意見を吸い上げられる機会をつくってほしい。

【その他】

- ・ 医師確保のために、岡谷市出身の医学部学生への奨学金を出したらどうか。
- ・ 経営ばかり考えて、看護の手薄状態等にならないようにしてほしい。
- ・ たくさんの患者さんが来院する病院。（例えば、優秀な医者がいる病院）

⑤ 子どものこれからについて

学校統合や通学区については、これからの動向を見ながら長期的に考えていく問題であると考えます。

○環境・ごみ・景観など（参加者7人）

①ごみについて

- ・ 昨年、ごみの出る量が日本一少ないまちを目指す目標を提言したが、なかなか進まない。
ごみの減量には強制力が必要ではないか。
(例)・有料化が必要かもしれない。
 - ・ ごみ袋の値段の見直しをする。
 - ・ 分別していないものは回収しない。(燃えるごみ→生ごみ・紙・スチロールなど)
 - ・ 週2回のごみ回収を週1回にする。
- ・ なぜごみを出すことがよくないのか？どうして変えていくことが必要なのか？市民の話し合いも必要だがなかなか難しい。そうすると、ある程度の強制力は必要だと思う。
- ・ 強制的にしていくことで、市民からの意見や問題が出てくるはず。どうしてごみを出すことがよくないかを考えるきっかけになるのでは。
- ・ 岡谷市の回収は至れり尽くせりで丁寧すぎないか。ごみの回収の方法も根本的に見直す

必要があるのでは。

- ・ごみを自分の地区ではなく、隣の区へ出しに行く人もいる。→ごみが選別されていればいいのでは。
- ・衛生自治会が、嫌がられても指導したり、はっきり言ったりできるような体制づくりができないか。委託料を払っているのに、機能していないようだ。
- ・現在ごみ袋の安売りをしていたり、景品などでもらうことが多かったりと、ごみ袋にお金をかけているという感覚がない。沢山ごみを出す人には、もっとお金を払ってもらうことも必要。
- ・(市) 現在、事業所で出たごみの回収料金は、10kgあたり95円の負担だが、実際焼却にかかる費用は、10kgあたり250円くらいかかっている。→値段を上げるべきである。
- ・ごみに関するガイドラインを作って減量を進めたらどうか。
- ・今までにやったことのないことをして、切羽詰っている状況を市民に知ってもらい、意識を変えなくてはならない。
- ・リサイクルは環境にいいような言われ方をするが、ごみを出すこと自体に変わりはない。リサイクルすればごみを出してもいいという話ではないと思う。
- ・JAに、家庭から出る野菜のくず(生ごみ)を集めてもらえるような協力体制を作ってもらえないか。
- ・どうしていったらよいか地域で話し合ってもらいたい。
- ・市民発の考え方をアピールする。
- ・行政からではなく、市民から市民のみなさんへの提案として、アンケートや実態調査を試みたらどうか。
- ・組織的な見直しが必要。ごみを出せば衛生委員会が片付けてくれるということをやっているだけではだめだと思う。
- ・子育ての問題にも関わってくるが、ものを大切にすることを育てていくことも大切。

②景観について

- ・景観条例を作り、景観の保護を行ったらどうか。
- ・マンションが本当に必要なのか。
- ・空き地をうまく利用させてもらえるようにしたい。地主にも近所の人にとって良い使い方ができたらと思う。

○街の賑わい、活性化など (参加者3人)

①駅前ララ岡谷について

- ・駅前のララ岡谷を7階建てのビルに替えてマンションにするという話があったが、もしここで提言ができるなら、他の使い方があってもいいのではと提案をすればいいと

思う。

- ・ ララを含めて駅前のことと、中央通りのことは入れて欲しい。
- ・ ララ岡谷を有効に活用して、市民が集まって楽しめる場所があったらいいと思う。
- ・ ヨーカドーや東急があった時の方が街全体としては賑わっていたが、なくなってしまうとさらに状況は悪くなり、今度は岡谷に人が来なくなってしまった。大型店がなくなって商店街の売上げが上がったかというそうではない。全体的に消費者が岡谷に求めるものがないとよそへ行ってしまうので、このサロンで皆さんの知恵を借りて、私たちにできることがあれば、やっていきたいと思っている。

②食べ物について

(担当より) 食べ物のこと(例えばうなぎや味噌)が話題になっていたので、提言の項目にあげてみたらどうか?

- ・ 食べ物は、街の賑わいにとって大切な要素だと思うが、今のところ決定打がない。もう少し、インパクトのあることができればと思う。
- ・ 順を追っていくと色々なアイデアも出てくる。(岡谷の味噌を使った味噌ラーメン・うなぎアイス・シルクアイス・シルクシュウマイなど)
- ・ 以前街中にうなぎを食べられる所が少ないという話が出たことがあるが、取り入れられてあちこちで食べられるようになった。うなぎ以外の新しいものを取り入れてほしい。食べ物は大事なので入れて欲しい。

③マンション・景観について

- ・ マンションがどんどんできていくが、このことについて市民がどう思っているかについても、提言に入れてもらいたい。
- ・ マンションができたわりには中央通りに人が増えたという感覚がしない。マンションが街の賑わいに繋がるかは分からない。景観上の問題もあるのでは。マンションの問題も提言に載せてほしい。

④憩いの場・サロンについて

- ・ ララ岡谷に限らず、誰でも集まれるようなサロンを設けて、頻りにイベントを行い、色々な人たちが集える楽しい場所にして、スタッフもボランティアではなく市から出してもらって、常駐できるようにイベントの企画をしたり、普段は子育ての悩みを話したりなど・・・常駐する人はアドバイスできるような人を置いて、お年寄りなど色々な方が集まって楽しめるような場所ができたらいいいと思う。
- ・ こどものくには、基本的にお母さんと一緒に、こどもを預けていくことはできないので、例えば買物や美容院、ちょっと息抜きをしたいときに1～2時間預かってもらえたり、集まってちょっとお茶が飲めたりできるような場所を作りたいと思う。現在の子育て事情を考えると、地域で育ててあげるということも必要だと思う。

(担当より) NPOのような形作りができれば、お金を払って見てもらうことができる。ボランティアの形も無償ではなく有償でできるようなシステムも考えられるのではないかと。NPOも子育ての相談やお年寄りの集える場所作りをしてい

く上で、1つの方法なのかと思う。

- ・ とにかく一カ所作ってみて、良ければ増やしていけばいい。
- ・ 現在のこどものくになが、こどもをちょっとの時間でも預けられるようになれば一番いいと思う。
- ・ 例えば市でやっていくには税金をどんどんつぎ込まなくてはならないが、団塊の世代でやってもいいよという人が参加できるような仕組みになれば面白い。
- ・ 新しい市長も団塊の世代や子育て支援のことを言っていた。実現していく方向の中に入れてもらい、実現できたらと思う。
- ・ 下諏訪には高校生が集まることができるサロンがある。若い子どもたちにも自分たちで、そして岡谷で活動できるような場もつくりたい。

(子どもと遊ぶ・学校紹介・PR・マーケット・部活動など発表の場など)

⑤カルチャーについて

- ・ 利用料金について
- ・ 部屋が飽和状態で使えない人がハイツに流れてしまっているの、ララを使ったらどうか。なるべくお金をかけずにすぐできる事、利用料金などを含めて提言に入れたらどうか。

⑥中央通りについて

- ・ 人が集まれる場所や、子育て支援のできる場をつくりたい。
- ・ お年寄りをターゲットにする話もあったが、扱っているものを考えると難しいと思う。また、新しいポイントカードを作る話も出たが、おカポンがかなり浸透してきているので新しいカードは必要ないと思う。
- ・ 駐車場がない→以前から土地、建物、借主が違うため権利問題や、商業者の考え方の違いなどがあるため、新しい駐車場をつくる事が難しいが、駐車場が増えるようなしかけはないか、というような提言をしていきたい。
- ・ 市営の駐車場を作って欲しいというのではなく、通り沿いに、店の駐車場として借りられる土地があれば良い。(使われていない古い家を取り壊された跡地で良い。)

(8時20分～、3グループの担当職員が話し合いの内容を簡単に発表)

- 小坂：第7回サロンは10月29日(月)に、イルフカルチャーセンター第1多目的ホールで、午後7時から行う。

(終了 8時30分)